

平成19年度第1回通常総会終わる

18年度決算を承認 新役員が決まる



平成十九年度第一回通常総会が六月三日(日)、サンセーブル盛岡で開催され、正会員である三十五市町村PTAより本人出席二十五名、委任状による代理出席五名、書

面表決書提出五名の全員の出席を得て、十八年度事業報告他の案件が審議された。まず、小野寺明美会長より、子どもの笑顔づくりのために学校や地域、そしてPTA会員同士の連携強化の必要性、更には、親自身の意識改革の必要性にふれた挨拶があり、来賓挨拶に続き、「これからの教育」と

題して、岩手県教育委員会相澤徹教育長による講話がおこなわれた。

その後、議長に久慈市PTA連合会会長中新井田聡氏を選出、平成十八年度事業報告ならびに決算が承認された。また、平成十九年度新役員が、役員選考委員会平坂聡副委員長による推薦の通り決定された。



平成18年度決算のあらまし

○収入の部

基本財産運用収入	1,440,000円
会費(世帯割 90円)	9,545,400円
会費(児童・生徒割 800円)	98,038,800円
補助金	270,000円
寄付金収入	0円
雑収入	133,612円
特定預金取崩収入	1,119,494円
繰入金収入	0円
当期収入合計	110,547,306円
前期繰越収支差額	50,662,129円
収入合計	161,209,435円

○支出の部

事業費	47,703,222円
①研究大会費 ②家庭教育セミナー費 ③調査研究資料費 ④PTA活動促進事業費 ⑤会報費 ⑥健康安全推進費 ⑦見舞金給付費 ⑧保険料 ⑨見舞金給付運営費 ⑩年次表彰費 ⑪コンクール費 ⑫派遣費	
管理費	23,442,225円
備品購入費	128,415円
特定預金支出	28,971,101円
①減価償却引当預金支出 ②見舞金給付基金積立預金支出 ③研究大会積立預金支出 ④特定事業積立預金支出	
繰入金支出	0円
予備費	0円
当期支出合計	100,244,963円
当期収支差額	10,302,343円
次期繰越収支差額	60,964,472円

※詳細は単位PTA学校事務局に送付してある平成19年度第1回通常総会議案書を参照してください。

今から十八年前、長女が生まれたとき、その新しい命の誕生に喜びで胸がいっぱいでした。それと同時に「私は今から、一生この子の親なのだ。」と思うと、その責任の重さに身がすくみました。子をもつということは、親として自覚と責任をもって育てるということです。もちろん、一生面倒を見るという意味ではなく、子どもが自立できるように応援していくということです。

現在、家庭教育の大切さがこれほど問われていることはないのではないのでしょうか。給食費や保育料の未納、児童虐待、あまりにも身勝手な考え方の子育て。人と関わることへの希薄さやモラルの低下という社会は、私たち大人が作ってしまったのです。今、子どもたちが置かれている社会の状況と、それゆえに変わりつつある子どもたちの現状は、目に見えない大切なことを疎かにしてきた顕れなのかもしれません。私たちはもう一度家庭のあり方を見直し、今何が大事で、何をすべきなのかをみんなで考えていく必要があると思います。

PTAの良さは「意識一つで変わること」だと思います。それは個々で変わること、みんなで変えていくこと、いろいろあるでしょう。課題を見つけ問題解決に向けてみんなで頭を寄せ合う。そして情報を共有、交流し、協働していく。この繰り返しが子どもたちの成長を見守り、教育環境を整えることにつながると信じています。それが私たち大人の責任なのではないでしょうか。



大人としての責任を

社団法人岩手県PTA連合会 会長 小野寺明美